

高等学校地理歴史科（世界史）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 (ウ)			4
	2 ウ			5
	3 エ			5
	(1) (ア)			5
	4 記号 (イ)		記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。	25
2	(2) 理由 この条約では、ドイツと西欧諸国との国境維持や不可侵が定められているため。		理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	
	1 商品を満載した船や、橋の上まで露店が並び賑わっていることがみられ、水路を通じて中国の商業網の中核であったこと。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	6
	2 皇帝自らが面接を行って選抜した多数の進士出身の官僚を統率下においていた独裁政治。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	6
	3 イ			4
	4 (エ)			4
3	5 蘇湖（江浙）が、長江の下流にあり、宋代に稻田が開発されて中国経済の中心地域となったこと。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	5
	1 健児			4
	2 エ			5
	3 エ			5
	4 武家諸法度によって参勤交代が制度化され、妻子は江戸に常時いることになり、3代から5代までの藩主は江戸で生まれることとなった。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	6
4	5 I → III → II → IV			5
	1 ポツダム宣言			4
	2 エ			5
	3 ア			5
	4 ウ → ア → イ			5
5	5 アメリカが国際収支の悪化に伴い、金とドルの交換停止を行ったことから、日本は固定相場制を維持することができなくなり変動相場制に移行したため。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	6
	1 地図Ⅰの大陸東岸と地図Ⅱの大陸西岸の海岸線の形がよく似ていることから、これらの大陸は、かつて一体であったものが分裂・移動して、現在の大陸分布にいたったという考え方。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	6
	2 エ			5
	3 ウ			4
	4 カ			4
5	5 記号 イ		記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。	25
	理由 原油のようなエネルギー資源を高い割合で輸出する国は輸出額が大きくなり、コーヒー豆や魚介類のような農産物・水産物を高い割合で輸出する国は輸出額が小さくなるため。		理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	

高等学校地理歴史科（世界史）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
6	1	エクメーネ	エクメネ、エクメナー もよい。	4
	2	記号 C 理由 グラフ A～C のうち、人口の減少が予想されることを示している B が、老齢人口率の高いヨーロッパである。人口の増加と穀物生産量の増加が予想される A と C について、人口と穀物生産量の増加の差がより大きい A が、稲の品種改良や灌漑等で食糧増産に成功したアジアである。そして、大規模な企業的農業を行い、移民を受け入れるなど人口増加率も比較的高い C が北アメリカである。	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	9 25
	3	中国 インド インドと比較すると、中国は、15 歳未満の人口が 1970 年から急激に減少しており、1970 年代末からの「一人っ子政策」の影響で高齢化が急速に進行し始めている。 中国と比較すると、インドは、第 1 次産業人口の割合が高いため子どもは重要な労働力であり、乳児死亡率も高いことから、人口抑制があまり進んでいない。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	各 6 × 2
	7	地球世界の課題に関する適切な主題を設定し、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	10
8	記号 ③			
	指導 表からは、男子普通選挙による 1848 年 4 月の選挙で急進共和派は大敗して、既存の社会秩序維持を掲げる稳健共和派の政府が成立していることが分かる。このことから、国民の多数を占める有産層や農民は急進的な政策を望んでいないことを理解させる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	20	
9	1	ムガル皇帝を廢してムガル帝国を滅ぼし、東インド会社を解散させて、インドを本国政府の直接統治下においた。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	10 20
	2	領主は貨幣を手に入れるため、賦役をやめて直営地を農民に貸し与え、生産物や貨幣で地代をおさめさせるようになった。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	10